

IAUD Newsletter vol.16 第9号(2023年12月号)

1. IAUD創立20周年記念特集 未来への提言⑨IAUD創立20年の歩み……………1
2. 衣のUDプロジェクト オンラインセミナー開催のご案内……………18
3. 国際UD研究講座第1期受講生募集のご案内……………18
4. UD検定オンライン中級第20回開催のご案内……………19
5. IAUD2023年12月の予定…………… 19



20年間の成果と実績を世界へ発信

IAUD創立20周年特集 未来への提言⑨IAUD創立20年の歩み



IAUD 発会式でお言葉を述べられる初代総裁の故寛仁親王殿下(2003年11月、東京・渋谷)

日本初のUD推進団体であるIAUDは、2023年11月28日(火)で創立20周年を迎えました。これも、当協議会の創立と発展にご尽力賜りました関係者の皆様、並びに日々の活動にご参加いただきました会員の皆様のご支援とご協力の賜物です。

創立20周年を記念して、Newsletterでは「創立20周年記念特集 未来への提言」を連載しております。

9回目は、国際会議やワークショップ、IAUD国際デザイン賞や検定など、IAUDがUDの普及と実現のためにこの20年間で実施してきた主な活動を年表で振り返ります。

2002年

・国際ユニバーサルデザイン会議2002開催 (11/30～12/4、横浜・パシフィコ横浜)



20か国から約4,600名が参加。テーマは「人間のために、一人一人のために暮らしの明日を考える……まち、もの、そして情報」。

国内外の UD 専門家による講演やこれまでの UD の成果を紹介する展示会が行われた。UD 宣言「一人一人の人間性を尊重した社会環境づくりを UD と呼び、使い手と作り手の関係を再構築することで社会のすべての面に適用されるべき人間中心の仕組み作りを急ぐことが重要」を採択。この宣言は今も IAUD の活動の原点になっている。



2003年

・国際ユニヴァーサルデザイン協議会創立

「国際 UD 会議2002」の理念と成果を継承して11月28日に創立。総裁に寛仁親王殿下、会長には富士通名誉会長の山本卓眞氏をお迎えし、国内最大の UD 推進団体としてスタート。公式 Web サイトオープン。「UD の更なる普及と実現を通して、社会の健全な発展に貢献し、人類全体の福祉向上に寄与すること」を基本理念とする。



創立に向けての記者会見で、「何故ユニバーサルではなくユニヴァーサルの表記なのか」との記者からの質問に寛仁親王殿下自らマイクを取られ、「私が強く要望したもの。UD で言語の壁を越えたものを作ろうというのに、“ユニバーサル”と発音していたのでは外国人に通じない。少しでもネイティブの読みに近い表記として“ユニヴァーサル”を採用した」とご説明された。

・IAUD 発足記念公開セミナー開催(東京・銀座)

初の公開セミナー。講演「IAUD への期待と世界の潮流」(英国王立芸術大学院ヘレン・ハムリン研究所教授 ロジャー・コールマン氏)とパネルディスカッション「事業に活かす UD の課題」を実施。生活者との対話を重視した協議会運営の重要性を確認。



2004年

・UD ワークショップ2004開催(横浜・あざみ野)

初のユーザー参加型ワークショップ。体の不自由なユーザーや会員企業のデザイナー、プランナーなど29名が参加。

デザイナーがユーザー現場の問題点を体感し、新しいデザインの可能性を探ることに一定の成果が得られた。また、デザイン開発現場でユーザー参加の UD 開発の必要性を再認識。



- ・Designing For The 21st Century III IAUD セッション開催
(Adaptive Environments 主催、ブラジル・リオデジャネイロ)
日本企業の UD の取り組みと商品を紹介。世界の UD が学術研究の場や社会福祉のレベルにとどまる中、日本は各企業が具体的な取り組みを持って製品に UD の発想を取り入れており、企業同士が一つの大きな目標に向かって知恵を出し合いスタンダードモデルを作ろうという姿勢が注目される。



- ・Ron Mace Designing for 21st Century Award 受賞
(Adaptive Environments)

2005年

- ・IAUD 会報創刊(以後、2007年12月まで発行)

- ・2004年度活動・成果報告会開催(東京・三田)
発足から1年が経過し、これまでの活動内容を会員と一般の方々に情報発信。会員限定の「活動報告会」、一般公開の「成果報告会」「懇親会」「IAUD・各委員会の展示」の4構成で実施。以後、成果報告会は2015年まで毎年開催。



- ・IAUD 特別公開セミナー開催(東京・汐留)
講演「UD・世界の潮流と課題」(ムーアデザイン・アソシエーツ社長 パトリシア・ムーア氏)。

- ・INCLUDE2005国際会議 IAUD セッション開催
(英国王立芸術大学院主催、英国・ロンドン)
日本企業の UD の実践事例について発表。欧州で使われている「Inclusive Design」についての意味合いをつかみ欧州における UD の動向を探った。



- ・ERA05 世界デザイン会議参加
(ノルウェーデザイン協会主催、ノルウェー・オスロ)
オスロ・プレコンファレンスで講演し、IAUD の活動紹介や IAUD コーナーを設け日本の UD 商品を展示。



- ・IAUD サロン開設
東京・八丁堀に会員の打ち合わせや情報交換など IAUD 活動の拠点として設置。

- ・UD ワークショップ2005開催(新横浜)
ユーザー参加型のワークショップ会期を2日間に延長して開催。「デザイナーはユーザーとユーザーのフィールドの間にある問題を体験した上で新しいデザインの可能性を探ること」の重要性を認識。



・IAUD 公開フォーラム2005開催(京都市)

「伝統文化と暮らしの UD」をテーマに、国際会議への参加を促すことを目的として開催。講演「世界の UD 動向と2006年国際会議への期待」(キャンベラ大学名誉教授 ビル・グリーン氏)やパネルディスカッションを行う。



2006年

・第2回国際 UD 会議プレイヴェント開催(神奈川・川崎)

講演「アクセシブル・デザイン規格の整備状況と国際展開」(経済産業省産業技術環境局 横田真氏)、「UD は今後どこへ向かって行くべきか?」(Adaptive Environments 所長 ヴァレリー・フレッチャー氏)。



・UD カンファレンス2006基調講演

(International Forum Design 主催、ドイツ・ハノーバー)
ドイツで最初に開かれた UD 会議で IAUD の成果や日本の先進的 UD を紹介し、ヨーロッパで日本の UD 情報を発信。また、UD 展視察などでドイツの UD の現状を調査。



・Design for All 講演

(Design for All Foundation 主催スペイン・バルセロナ)
日本が超高齢社会に突入している現状と IAUD の設立経緯、会員企業の UD 商品開発への取り組みを紹介。日本製品の質の高さや UD への取り組みに称賛を得る。



・第2回国際ユニヴァーサルデザイン会議2006in 京都開催

(10/22~26、京都・国立京都国際会館)



29か国から約14,700名が参加。テーマは「さりげなく、大胆に ~使い手と作り手の対話、実践そして実現~」。

有識者による基調講演やセッション、最新の日本の UD 製品を紹介した展示会を実施。



・特別ワークショップ 第1回48時間デザインマラソン in 京都開催

IAUD と英国王立芸術大学院ヘレン・ハムリン研究所の共同開催。英国人デザイナーを招聘しグローバル化、学生ボランティアによるサポートで産学共同体制を構築。今回でフィールド調査から企画、開発、提案に至るユーザー参加型「48時間デザインマラソン」の骨格を確立。以後、毎年全国各地で開催しており、これまで多くの経験者が育っている。



- ・第1回サステナブルデザイン国際会議 Destination2006-2026参加
(サステナブルデザイン国際会議実行委員会主催、東京・有明)

2007年

- ・特別ワークショップ 第2回48時間デザインマラソン in 千葉開催

- ・第2回サステナブルデザイン国際会議 Destination2007-2025共催

(サステナブルデザイン国際会議実行委員会主催、岐阜・白川村)
サステナブルな社会におけるデザインの役割やふさわしい生活価値観の創出と提案を学ぶ。また、「エコイノベーションで実現するサステナブルなライフスタイル2025」編纂に協力。



2008年

- ・情報交流センター設置、IAUD Newsletter 第1号創刊

国内・海外への UD 情報発信機関として IAUD サロン開設内に設置。以後、IAUD Newsletter を毎月発行。

- ・UD フォーラム in 札幌開催

「北の暮らしと UD」をテーマに、講演「スウェーデンの UD 紹介」(エルゴノミデザインジャパン代表 ダーク・クリングステット氏)やパネルディスカッション、ワークショップ「余暇の UD サービスシナリオの提案」を実施。地域の人々と UD の意義や重要性を共有。



2009年

- ・特別ワークショップ 第3回48時間デザインマラソン in 東海開催

- ・IAUD UD 大会 in 東海開催(名古屋市)

東海地区の人々の暮らしや産業、学術研究などに焦点を当て、UD を通しての研究発表や事例紹介、展示等を実施。講演会やパネルディスカッションなどを通じて、将来の暮らしや社会のあり方を共に考えた。



- ・国際 UD 会議プレイヴェント しずおか UD の絆 in 浜松開催

UD に対する県民・市民の関心と理解を深め、情報発信を目的に開催。記念講演「誰もが暮らしやすい高齢社会への提言」(評論家 樋口 恵子氏)やテーマ「次の世代に今できること」のパネルトークを実施。



- ・特別ワークショップ 第4回48時間デザインマラソン in 浜松開催

2010年

・冊子「IAUD UD マトリックス ユーザー情報集・事例集」発刊

デザイン開発者が UD を考えるヒントになるよう、標準化研究ワーキンググループが幅広いユーザーに関する情報と配慮ポイントを集めたユーザー情報集と製品やサービスを収集した事例集を1冊に収集。

・冊子「テレビコマーシャルにも字幕を」発刊

テレビコマーシャルへの字幕付与をめざした活動をしている余暇の UD プロジェクトが生活者向けの啓発冊子として作成。

・電子書籍「UD 先進事例～多様性への挑戦、IAUD 会員の取り組み」発刊

32社・団体の IAUD 会員による先進的な UD 取り組み事例を紹介。



・第3回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2010 in はままつ開催 (10/30～11/3、浜松・アクティシティ浜松)



38か国から約14,110名が参加。テーマは「人と地球の未来のために～持続可能な共生社会の実現に向けて」。小中学生対象のこども UD コンテストや地雷除去機や発展途上国の人々を救うデザインを展示した特別企画展「世界を救うデザイン」を実施。



・Universal Design Honor Award2010受賞(ドイツユニヴァーサルデザイン協会)

・特別ワークショップ 第5回48時間デザインマラソン in 浜松開催

・IAUD アワード創設



UD 社会の実現に向けて特に顕著な活動や貢献をした団体・個人を表彰する IAUD アワード事業を開始。

第1回目には国内外23件のエントリーから「大賞」1件、「優秀賞」3件を選出し、国際会議中に表彰式と受賞者によるプレゼンテーションを開催。以後、2012に第2回、2013年以降は毎年実施しており、UD の普及啓発を推進している。



2011年

・第2回 UD 国際フォーラム講演

(マラガ市議会主催、スペイン・マラガ)

日本が超高齢社会となっている現状や日本の最新の UD 商品、サービス事例を紹介。



・第5回キッズデザイン賞キッズ・コンシューマーサポート部門受賞

余暇の UD プロジェクト作成の冊子「テレビコマーシャルにも字幕を」による啓発活動が受賞。子どもの会話の現状をリサーチし CM と字幕という社会課題に光を当てた独自性と、親子で UD の意味を考える契機になると評価された。

・国際 UD 学術祭参加(ソウル DPI 主催、韓国・ソウル、スオン)

講演「IAUD の役割と課題」で、超高齢社会となっている日本の現状や日本の最新の UD 商品、サービス事例を紹介。

・2011UD 国際セミナー参加(デジョン市主催、韓国・デジョン)

講演「UD におけるまちづくりの体系的な戦略と自治体の役割」で静岡県の事例を紹介。

・特別ワークショップ 第6回 48 時間デザインマラソン in 金沢開催

・平成23年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰受賞

「内閣府特命担当大臣表彰 奨励賞」を受賞。研究や活動の成果を披露する場として「国際 UD 会議」を開催するなど、幅広い層への普及活動に貢献したと評価された。



2012年

・「交流会の UD---みんなが楽しめるノウハウ集」

「交流会の UD---UD コミュニケーションブック(パーティ編)」発行

余暇の UD プロジェクトは交流会で誰もがスムーズで楽しくコミュニケーションするためのノウハウを2つの冊子にまとめた。



・2011年度 IAUD 成果報告会／第 4 回国際 UD 会議プライベート開催(東京・江東区)

2011年度の研究部会と委員会活動の活動成果を報告。また、基調講演(野村総合研究所顧問 増田寛也氏)、講演「安全・安心～UD の基本を考える～」(防衛省統合幕僚監部 竹本竜司氏、建築家伊東豊雄氏)では、東日本大震災復興現場での活動紹介があった。



・Knowledge of Design Week 2012参加

(香港デザインセンター主催、中国・香港)参加

基調講演「0歳から80歳まで:なぜ日本製品はすべての人に恩恵を与えるのか」及びワークショップ「ビジネスとデザイン:人間中心のアプローチ」「不可能な任務:あなたは日常のデザインを使えていますか」を実施。



・冊子「衣着る I」発行

衣の UD プロジェクトが人間生活における衣の重要性を分かりやすく解説。



・特別ワークショップ 第7回48時間デザインマラソン in 福岡開催

・第4回国際ユニバーサルデザイン会議2012in 福岡開催

(10/12～14、福岡市:福岡国際会議場、福岡国際センター)



22か国から延べ約11,400名が参加。テーマは「安全・安心～UD の基本を考える」。防衛省協力による特別企画展「命を救うデザイン」も開催。



・IAUD アワード2012開催



国内外34件のエントリーから「特別賞/寛仁親王賞」1件、「大賞/経済産業大臣賞」1件、「金賞」「銀賞」各 11 件を選定。

・第1回 UD 検定・初級 講習会&検定試験開催(福岡市)



UD 検定™

UD の更なる普及と実現をめざす一環として UD 検定事業がスタート。国際会議中に UD 検定・初級の第1回目を実施。

初級検定試験は UD の基礎的知識を学習する講習会と理解度をテストする検定試験の二部構成。以後、毎年全国各地で実施。



2013年

・第1回定例セミナー開催(東京・大森)

主に各省庁や自治体関係者を講師に UD に関する政策や課題などをテーマにする定例セミナーを開始。講演「人にやさしいまちづくり」(内閣府大臣官房審議官 渋谷和久氏)、「クールジャパン産業を海外へ」(経済産業省商務情報政策局 外山雅暁氏)。会場は満席となり、国や自治体の動きや協働についての関心の高さが伺えた。



・2012年度 IAUD 成果報告会/第2回定例セミナー開催(東京・浜松町)

研究部会と委員会活動の活動成果を報告。講演「通貨制度(幣制)と UD」(内閣官房行政改革推進本部 渡部晶氏)も実施。

・第3回定例セミナー CM 字幕勉強会開催(東京・豊洲)

余暇の UD プロジェクトで研究してきた CM 字幕に関し、CM 字幕本放送開始に向け CM 字幕トライアルに携わっている6名を招いて勉強会を実施。

・IAUD プロモーションムービー制作、YouTube 公開

UD 普及の一環として、高校生と老人の触れ合いを通じて、何気ない日常風景から、誰もが共に生き生きと活動している近未来の UD 社会を描いた映像を公開。

<https://www.youtube.com/watch?v=IGtxBLImCB8>



・一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会設立

寛仁親王殿下のご命日である6月6日に一般財団法人設立登記手続きを行い、「一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会」として14日に公示。

・INCLUDE ASIA 2013ワークショップ開催

(香港デザインセンター主催、中国・香港)

IAUD 主体による海外で初めてのワークショップ「Inclusive Design in Japan」開催。4時間の限られた中で日常の体験やニーズを率直に出し合い、言葉の障害を乗り越えてユニークな提案に結びつけた。



・第5回国際デザイン学会連合国際会議(IASDR2013)展示会参加

(日本デザイン学会・日本感性工学会・日本学術会議主催、豊洲)

IAUD と会員企業7社が出展。皇太子殿下が IAUD ブースをご巡覧され、IAUD の活動に関心を寄せられたご様子で、UD 製品を手に取って実際にお試しになられた。



・特別ワークショップ 第8回48時間デザインマラソン in 神戸開催

・IAUD 創立10周年記念イベント開催(横浜市)

講演「新たな成長戦略と UD」(岩手大学地域連携促進センター客員教授 渡邊政嘉氏)、「UD 社会の実現に向けて」(国土交通省都市局 佐竹洋一氏)や、パネルディスカッション「これまでの10年、これからの10年 ~クールジャパンと海外戦略における UD~」を行う。



・IAUD アワード2013表彰式/プレゼンテーション開催

国内外38件のエントリーから「大賞」1件、「金賞」6件、「銀賞」7件、「IAUD アワード」14件を選定。



2014年

- ・2013年度 IAUD 成果報告会 & 第4回定例セミナー開催(東京・芝)
2013年度の各委員会と研究部会による主な活動を報告。講演「2020年の東京オリパラに向けて」(内閣官房参与/内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長 平田竹男氏)。



- ・国立印刷局 五千円券改良記念式典参加(東京・西ヶ原)
- ・特別ワークショップ第9回48時間デザインマラソン in 東京開催
- ・冊子「気づきの事例集」Vol.1発刊

住空間プロジェクトは10年間の UD 関連施設視察レポートをまとめた。



- ・第5回国際ユニヴァーサルデザイン会議2014 in 福島&東京開催
(11/9~13、東京:東京国際交流館、福島:ビッグパレットふくしま)



初の福島と東京の2拠点で開催、24か国から約9,800人が参加。テーマは「UD のグローバル展開~東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて~」。被災地の復興状況を視察する福島フィールドサーヴェイ「復興と再生の UD」や、2020年のオリンピックに向けた提言を考える東京ワークショップ「東京2020+」実施。



- ・IAUD アワード2014表彰式/プレゼンテーション開催



国内外44件のエントリーから「大賞」3件、「金賞」6件「銀賞」8件「IAUD アワード」17件を選定。

- ・UD 検定中級公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」発刊
UD の幅広い分野を網羅。UD 検定・中級試験問題は本書に準拠して出題。




2015年

- ・全国財務事務所長会議講演(東京・霞が関)

講演「地域創生に向けた UD のまちづくり」で、UD の必要性や具体的な活用例や「48時間デザインマラソン」を紹介。

・第1回 UD 検定・中級開催(東京・芝)

 初級に続き UD 検定・中級がスタート。試験問題は公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」に準拠して出題、検定試験とは別の日に講習会も実施した。



・印刷博物館展示会「みんなにうれしいカタチ展日本発 UD2015」出展(東京・文京区)

・アリゾナ州立大学と UD 共同ワークショップ開催(東京都内、京都市)

研究部会と会員企業がアリゾナ州立大学院 Takamura 研究室の学生と「移動」「ワーク/ライフ」「レジャー(観光)」をテーマにした3つのワークショップを実施。UD について2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた有意義な議論が行われた。



・特別ワークショップ第10回48時間デザインマラソン in 東京開催

・冊子「UD ってなんだろう？」発行

標準化研究ワーキンググループが子供向けに UD を解説するために作成。UD 授業の一環として江東区立第六砂町小学校で実施した UD ワークショップ「やってみよう！UD(ひとつの発見、そして未来へ)」で配布。



2016年

・第6回国際会議2016in 名古屋プレイヴェント開催(愛知・日進市)

講演「日進市における UD 教育～3年間の実践～」(日進市立竹の山小学校校長 宮道弘巳氏)、「デザインの新しい時代」(名古屋学芸大学メディア造形学部長 木村一男)、特別セッション「名古屋観光ビジネスのデザイン提案～市民意識の変化～」((財)日本インダストリアルデザイナー協会中部ブロック)。



・IAUD アワード2015表彰式/プレゼンテーション開催



国内外から49件のエントリーから「大賞」3件、「金賞」6件、「銀賞」8件、「IAUD アワード」29件を選出。

・2015年度 IAUD 成果報告会開催(東京・芝)

各委員会と研究部会が2015年度に実施された重要な取り組みを報告。講演「クリエイティブ産業政策の現況と UD」(経済産業省商務情報政策局 藤原宗久良氏)実施。

・Innovation for All 2016参加(ノルウェイ・オスロ)

講演「Innovation for All from Japanese Perspective」を行い、IAUD の活動や日本の最先端 UD 商品開発事例を報告。



・AHFE2016(第7回国際応用人間工学会議)参加

(国際応用人間工学会主催、米国・フロリダ)

総裁瑤子女王殿下のご講演「Who am I? Or you? What is a person? What does our existence mean? What do we mean by connections between people? (人とは何か? 人の存在とは何か? 人との繋がりとは何か?)」は国を超えて大きな感動を呼んだ。



・特別ワークショップ第11回48時間デザインマラソン in 東京開催

・第12回しんきんビジネスマッチングビジネスフェア2016出展(名古屋市)

・冊子「衣・着るⅡ ころとからだ編」発行

衣の UD プロジェクトが衣服と人間の関係性をころとからだ、文化や社会生活について解説。



・第6回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2016in 名古屋開催

(12/9~11、名古屋市・名古屋国際会議場)



30か国から約12,000名が参加。テーマは「UD による共有価値の創造」。一般市民にもわかりやすい UD 公開ワークショップや展示会を行う。特に、標準化研究ワーキンググループが名古屋市内の小学校で実施した「こども UD ワークショップ」成果発表では、こども達自身が考えた UD を発表し参加者から多くの賞賛が寄せられた。



・IAUD アワード2016表彰式/プレゼンテーション開催

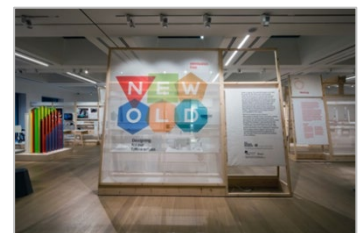


国内外59件のエントリーから「大賞」2件、「金賞」7件、「銀賞」12件、「IAUD アワード」34件を選定。

2017年

・デザイン・ミュージアム企画展 The New Old: Designing for our Future Selves 協力(英国・ロンドン)

世界の高齢化対策へのデザインの役割をテーマにした企画展に参加。日本らしい心配りや新しい UD 価値を提案している商品として、IAUD アワード受賞したパナソニック(株)のランタンとランプ、「第6回国際 UD 会議2016in 名古屋」展示会に出展されたアザラシ型ロボット「パロ」を推薦。



・2017年度第1回定例セミナー／IAUD アワード説明会開催(東京・大手町)

「IAUD アワード2017」の審査体制や応募詳細について説明。
また、金庭宣雄名古屋市議員による「UD2016開催報告」や講演「成長戦略とデザイン政策」(経済産業省商務情報政策局 藤原宗久氏)も行う。



・特別ワークショップ 第12回48時間デザインマラソン in 東京開催

・第12回しんきんビジネスマッチングビジネスフェア2017出展(愛知県・名古屋市)

・ジャパンシルバーEXPO2017UD ステージ開催

(主催:一般社団法人日本能率協会、東京・有明)

UD をテーマに研究部会や委員会、会員企業がプレゼンテーションを行い、研究活動の成果や先進事例を紹介し高齢化社会に向けた UD の理解と普及に努めた。

2018年

・HCJ2018セミナー講演(日本能率協会主催、東京・有明)

ホテル・レストラン業界の展示会でセミナー「『ユニバーサルデザイン・スタディ』観察から見える気づきのデザイン」を開催し「48時間デザインマラソン」を紹介。

・第1回 IAUD 住宅学生コンペ

「UD プラスの家～『ゼロからつくる日本の住まい』を考える～」開催



学生から UD プラスの発想による斬新な住まいと暮らし方の提案を募るコンペを実施。「入賞」2件、「佳作」2件を選定し表彰式を開催。



・IAUD アワード2017表彰式／プレゼンテーション in ミュンヘン開催(ドイツ・ミュンヘン)



アワード実施7年目に初めて海外で表彰式を開催、14か国から参加者を迎える。国内外43件のエントリーから「大賞」2件、「金賞」9件、「銀賞」14件、「IAUD アワード」14件を選定。

IAUD アワード2017審査委員会による基調講演やパネルディスカッション「UD は世界を変えられるのか」も実施。



・第1回定例セミナー／IAUD 国際デザイン賞2018説明会開催(東京・赤坂)

今回より「IAUD アワード」から「IAUD 国際デザイン賞」と名称を変更、賞の本質的目標や審査体制について説明。

講演「デザイン政策について」(経済産業省商務情報政策局 三牧純一郎氏)。



・特別ワークショップ第13回48時間デザインマラソン in 東京開催

・第2回 IAUD 住宅学生コンペ

「UD プラスの家～『ゼロからつくる日本の住まい』を考える～」開催



学生から UD プラスの発想による斬新な住まいと暮らし方の提案を募るコンペを実施。「入賞」2件、「佳作」1件を選定。

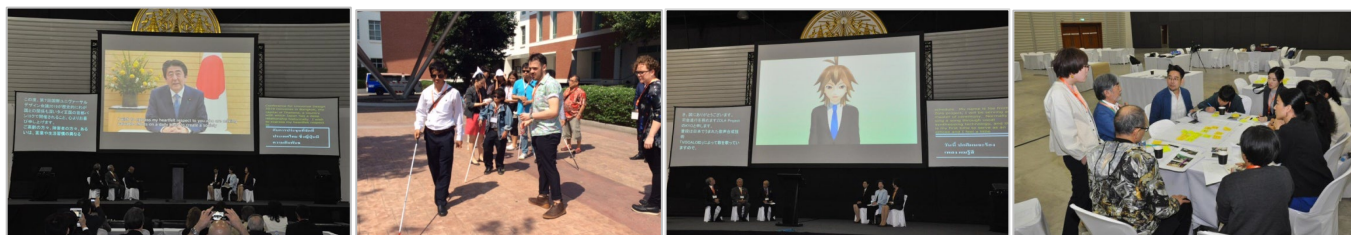
2019

・第7回国際ユニヴァーサルデザイン会議2019inバンコク開催

(3/4～3/6、タイ・バンコク、モンクット王工科大学ラートクラバン校)



初の海外開催となり、世界各国から多数参加。テーマは「UD による持続可能な発展」で、基調講演やセッション、UDワークショップを通してSDGsの目標達成に向けてUDが貢献できることをASEANや世界へ発信。



・IAUDアワード2018表彰式／プレゼンテーションinバンコク開催



海外で2回目となる表彰式を開催、国内外22件のエントリーから「大賞」1件、「金賞」11件、「銀賞」4件、「IAUD国際デザイン賞」6件を選出、表彰式とプレゼンテーションを実施。



・第3回IAUD学生コンペ

「2025年以降の日本の暮らしと住まい『UDプラス』のプロトタイプを考える」開催



学生からUDプラスの発想による斬新な住まいと暮らし方の提案を募るコンペを実施。「入賞」1件、「佳作」2件、「テーマ賞」1件を選定。

・1st Dubai Accessible Tourism International Summit講演

(アラブ首長国連邦ドバイ)

IAUDの主な活動や会員企業のUD事例を紹介、「第7回国際UD会議2019 in バンコク」報告。



・IAUD国際デザイン賞2019表彰式／プレゼンテーション開催



国内外39件のエントリーから「大賞」3件、「金賞」10件、「銀賞」8件、「銅賞」14件を選定。

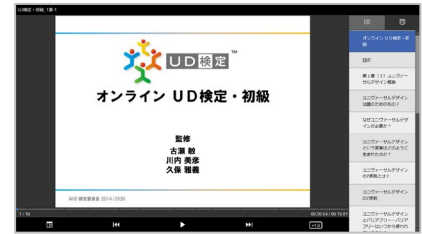
2020

・国際UD会議 予稿集・論文集・講演集2002～2019年販売

国際UD会議開催15周年を記念して、2002年、2006年、2010年、2012年、2014年、2016年の国際会議で作成した予稿集・論文集・講演集(CD-ROM)、及び2019年にバンコクで開催した国際会議の論文集のCD-ROMと報告書をセットで販売開始。

・第1回UDオンライン検定初級開始

多くの方に受検していただくため、時間・場所を問わず講習から検定試験まで受けられるオンラインUD検定・初級を開始。



・マスクの作り方動画掲載

新型コロナウイルス感染対策の一環として、IAUDのグローバルサイトにハンカチを使って簡単にできるマスクの作り方の動画を英語とスペイン語で紹介。



・手作りマスク900枚寄付を寄付した中学生紹介

新型コロナウイルス感染拡大でマスク不足の深刻な状況を危惧した中学生が、約900枚のマスクを手作りし県庁や大学に寄付。素晴らしい行動力と優しさを多くの方に知ってもらうためにホームページやNewsletterで紹介。



・第1回UDオンライン検定中級開始

公式テキストブックを使用して事前学習後、オンラインで力試しのうえ検定試験が受験可能。

・IAUD国際デザイン賞2020表彰式／プレゼンテーション開催

新型コロナウイルス感染拡大のため初のオンライン開催。世界13か国から約170人が参加。国内外67件のエントリーから「大賞」1件、「金賞」9件、「銀賞」19件、「銅賞」35件を選出。



2021

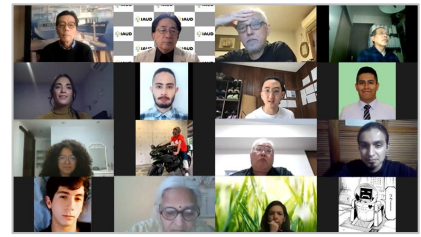
・第8回国際ユニヴァーサルデザイン会議 2021 in ザ・クラウド開催 (2/26～27,オンライン)

新型コロナウイルス感染拡大のため初のオンライン開催、世界25か国から約660人が参加。感染防止対策の一環としてテーマは「新型コロナウイルス感染防止のためのデザイン」とし、国内外の有識者から最新の感染防止対策に関する研究成果が披露され、科学的根拠に基づいた対処法を確立するためのデザインを考察。



・オンラインUDワークショップ「疫病退散 !!」開催

初のオンラインワークショップを開催、世界5か国約30人が参加。テーマを「新型コロナウイルス感染防止のためのデザイン」とし、参加者はリモートで斬新なデザインを多数提案。



・2015大阪・関西万博共創パートナー登録

2025年大阪・関西万博の参加型プログラム「TEAM EXPO 2025」の共創パートナーに認定。新設された研究部会「EXPO2025特別プロジェクト」主導でUDに関する様々な研究活動実施へ。

・衣・着るvol. III テーマ「衣とイノベーション」冊子作成

衣のUDプロジェクトが、日々進歩している衣の技術をテーマに、衣の持つ素晴らしいちからを共に考えるための5つのトピックを紹介。



・TEAM EXPO 2025 共創パートナー事業オンラインセミナー開催

「ポストコロナ時代のユニバーサルな街づくりーEXPO 2025 を見据えて」をテーマに、講演「EXPOに求められるユニバーサルな街づくり」(アクセシビリティ研究所主宰 川内美彦氏)、「つながる梅田の中心を目指した取り組み」(阪急阪神不動産株式会社 松田圭洋氏)、「建築・都市と新たなコミュニケーション」(パノラマティクス主宰 齋藤精一氏)、「華道におけるもてなし」(華道家元池坊 池坊専好氏)とパネルディスカッション実施。



2022

・2nd Dubai Accessible Tourism International Summit講演

(アラブ首長国連邦ドバイ)

日本国内でのUDを活用した新型コロナウイルス感染症対策について、「第8回国際UD会議2021inザ・クラウド」で提示された事例をオンラインで紹介。



・IAUD国際デザイン賞2021表彰式／プレゼンテーション開催

2回目のオンライン開催。世界11か国から約200人が参加。国内外54件のエントリーから「大賞」2件、「金賞」9件、「銀賞」18件、「銅賞」10件、新設された「学生デザインチャレンジ優秀賞」1件、「学生デザインチャレンジ賞」7件を選出。



2023

・IAUD国際デザイン賞2022表彰式／プレゼンテーション開催

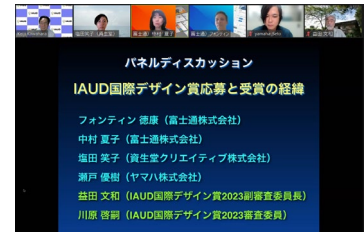
3回目のオンライン開催で、世界14か国から約200人が参加。国内外31件のエントリーから「大賞」2件、「金賞」8件、「銀賞」8件、「銅賞」4件、「学生デザインチャレンジ賞」1件を選出。



・衣のUDプロジェクト 解説原稿「衣服のUDに関する取り組み」が「2022年度消費科学エクスポジションアワード(解説賞)」受賞

・2023年度第1回IAUD定例セミナー開催

テーマは「IAUD国際デザイン賞応募と受賞の経緯」。過去のIAUD国際デザイン賞受賞者3社がUDへの取り組みや受賞後のメリットを講演。



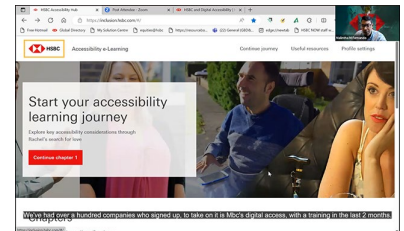
・国際ユニヴァーサルデザイン研究学院設置



創立20年の節目を迎えるにあたり、研究教育的な事業として、社会人の再教育を通してUDの本質を理解し、それぞれのビジネスに活用できるより研究教育的な取り組みを開始。

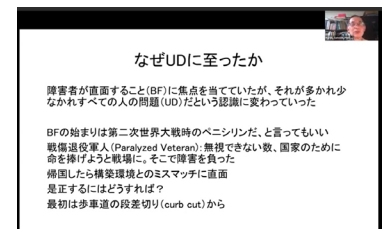
・2023年度第2回IAUD定例セミナー開催

テーマは「e-ラーニングによるUD人材育成」。IAUD国際デザイン賞2022大賞を受賞したHSBCの取り組み「HSBC アクセシビリティハブ」講演。



・IAUD国際UD研究講座第1期開講

拡大進化するUDの課題を解決する思考法を身につけるためのリカレント教育やリスキリングのコースを提供。多様なUD領域の中から、受講者の個性や能力に応じた選択肢を準備。



20年間の総括、そして将来に向けて

以上のように、IAUDは国内外での国際会議開催やIAUD国際デザイン賞事業、UD検定事業、多様なワークショップやセミナー、さらには様々なテーマに基づく研究開発を通じて、UDの普及と振興に努めてきました。

また、創立20周年を迎えるにあたり、この度国際UD研究学院を設置し、新たな事業「国際UD研究講座」を開講しました。

IAUDはこの20年間で構築してきた活動を今後も責任をもって続けていきながら、研究教育的な事業など新たな取り組みも積極的に展開していきます。

そして、これまでの成果と実績を世界に向けてしっかりと発信し、日本発のUDをより一層広めていきます。

引き続き、皆様のご協力とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



平常時・災害時にも安心して使えるファッションを考える 衣のUDプロジェクト オンラインセミナー開催のご案内

**防災のためのファッション&グッズ
～防災グッズ大賞から～**

DATE 2023.12.14 Fri.
13:30~15:00

PLACE ZOOM オンライン

主 催	共 催
IAUD	UNIFA


吉田 明生 氏
一般社団法人 災害防止研究所 代表理事

主催:一般社団法人 国際ユニバーサルデザイン協議会 衣のUDプロジェクト 共催: NPO法人 ユニバーサルファッション協会

おしゃれで機能的、安心・安全で非常時にも役に立つ「フェーズフリーウェア」を研究している衣のUDプロジェクトは、12月14日(木)にオンラインセミナー「防災のためのファッション&グッズ～防災グッズ大賞から～」を開催します。

講師には防災活動専門家である吉田明生・災害防止研究所代表理事をお迎えし、平常時のみならず災害時にも使えるファッションやグッズはどうあるべきかを考察します。

参加費は無料です。皆様の参加をお待ちしています。

※オンラインセミナーの詳細・申込みは[こちら](#)をご覧ください。



リカレント教育や経営幹部養成プログラムに活用できる 国際UD研究講座第1期受講生募集のご案内

IAUDは「国際UD研究講座」第1期(2023年10月～2024年7月)の受講生を募集中です。

「国際UD研究講座」では、新たなUD思考を身につけるリカレント教育やリスキリングのコースを、オンラインで提供します。多様なUD領域の中から受講生の個性や能力に応じた選択肢を準備しており、基礎と専門のメソッドを習得できるようなカリキュラムになっています。

10月に開講していますが、終了した選択講義はオンデマンドで視聴できますので、いつでも申込みが可能です。なお、IAUD会員および学生は受講料が割引になります。

自己研修や経営幹部養成プログラムの一環としてぜひ活用いただきますよう、皆様の参加をお待ちしています。

※国際UD研究講座の詳細や募集要項は[こちら](#)をご覧ください。

※国際UD研究講座第1期シラバスは[こちら](#)をご覧ください。



在宅で好きな時にUD資格習得

UD検定オンライン 中級第20回開催のご案内

IAUDは、「UD検定中級第20回」をオンラインで開催します。

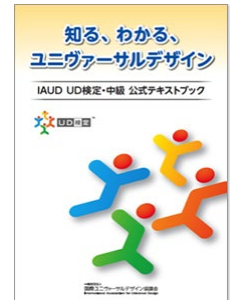
「UD検定中級」は、力試し問題と検定試験(70分・129問)を受けていただきます。試験問題は、公式テキストブック「知る、わかる、ユニヴァーサルデザイン」に準拠して出題されます。受験される方は事前に公式テキストブックをご購入し、ご自身で学習された後に試験をお受けください。

合否は検定試験終了後すぐに判定され、合格者には認定証を発行します。

「UD検定オンライン中級第20回」の申し込み受付は、12月20日(水)までです。この機会にぜひ、ご利用ください。

※お申込み及び詳細は[こちら](#)をご覧ください。

※「UD検定オンライン第1回中級」開催報告のNewsletterは[こちら](#)をご覧ください。



公式テキストブック

IAUD 2023年12月の予定

月	火	水	木	金	土	日
				1 15:00~ CM字幕PJ会合 @ライオン(株)	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14 13:30~ 衣のUDPJ オンラインセミナー 15:30~ 衣のUDPJ会合	15	16	17
18	19	20 UD検定中級 申込締切	21	22	23	24
25	26	27	28	29 IAUD事務局 年末年始休暇	30	31

※IAUD事務局は、2023年12月29日(金)から2024年1月4日(木)まで年末年始休業いたします。2024年1月5日(金)より、通常通り営業いたします。

次号は2024年1月上旬発行予定 特集:IAUD創立20周年記念特集 未来への提言⑩

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会 事務局

<http://www.iaud.net/>

e-mail:info@iaud.net

Instagram: [iaud.info](https://www.instagram.com/iaud.info)

LinkedIn: [international association for universal design](https://www.linkedin.com/company/international-association-for-universal-design)